

かれい

嘉例のながれ

江迎小学校 学校だより

平成29年度 第14号

平成29年9月8日（金）発行

文責：校長 立木 昭夫

前期後半の授業が始まって1週間がたちました。子供たちは、学校生活のリズムが少しずつ戻り、学習に打ち込めるようになってきました。

でも何となく覇気を感じないのは私だけでしょうか。夏休みの疲れなののでしょうか。ご家庭でも通常のリズム回復（早寝・早起き・朝ご飯）にご配慮をお願いします。



<学校目標を知っていますか？>

本校の学校目標は、「夢をもち、自ら学び、心豊かで、心身ともに元気な児童を育成する。」『**夢** **元気** **心**』です。

学校目標は、教室や玄関にも掲示し、学校だよりやホームページでも伝えています。ところが、9月1日の全校朝会で聞いたところ、児童の10分の1程度しか、「夢」「元気」「心」が学校目標であると答えることができませんでした。ゆゆしきことです。

また、この1週間、子供たちの様子を見てると何となく覇気を感じないのです。9月になり、いざ、学校と意気込んでほしいところですが、それが見えません。朝のあいさつの声の大きさやトーンからもそれは感じられます。そこで、この学校目標の3つの言葉について、校長からも一つ一つ直接アプローチをしていきたいと思います。

まずは、「夢」からです。本日、子供たちに将来の「夢」を考えてくる（今の時点で決めてくる）宿題を出しています。3日間で考えて、9月11日（月）に担任の先生に提出してもらいます。それは、大人になったときの職業でもいいし、何かしたいことでもいいです。自分が幸せになる・家族を守る・みんなの役に立つようなポジティブな（自分を高める）「夢」をもってもらえたら嬉しいです。



子供たちには、「夢」を実現する方法を考え、目標を立てて日々頑張ってもらいます。いつでも「夢」や目標を語れるようにしたいと思います。私たち教師は、子供たちが「夢」を実現するためにはどうしたらよいか考え、支援をしていきます。

もちろん、私たち教師も「夢」を語れる教師であらうと心がけています。そして、保護者の皆様や地域の皆様にも「夢」を語っていただきたいと思います。子どもだけに「夢」をもてと言っても難しいことです。今の社会の中で大人が「夢」をもって生きていることを背中を示すことが必要です。この3日間、子供たちと一緒に大人も「夢」について考えてほしいと思います。子供たちの将来のためにどうぞよろしくお願いいたします。

< 9月5日の登校時の雨（少雨：車での送りは・・・？） >

5日(火)は、久しぶりの雨模様の朝でした。栗越、梶ノ村は、今日は、送りだなと考え、(両地区は、歩道がない道路を歩くため、雨天時は学校か途中まで、保護者の車での送り)学校から歩いて、中尾・深川地区の集団登校の見守りに出かけました。小雨がずっと降っていましたが、ひどく濡れることもなく、歩くことができました。中尾・深川の子供たちも全員集団登校で歩いて登校しました。一緒に学校に着いた後、今度は、校門の方で子供たちを出迎えました。末橋や西江迎の子供たちが歩いて登校しました。そんな中、続々と校門に自家用車での送りの子供たちが到着しました。中には、病気やけがの子どもや根引地区のように1年生だけで遠くから歩いて来なければならない子どもは、車での登校を認めています、それ以外は、基本的に集団登校となっています。集団登校（歩いて登校）のメリットについては、7月発行のPTA広報誌「むくの木」に書かせてもらいました。以下の通りと考えています。



- ① 家庭から社会へという区別 （送りは、学校の校門や玄関に、家庭が近づいてしまう曖昧さ）
- ② 体力やリズムづくり （起床から学校に着くまでは、適度な運動を伴うルーティーン）
- ③ 地域の大切な子どもであるという認識 （地域の温かみの中で育つ幸せ）
- ④ コミュニケーション能力や集団ルールを身につける （人が協働の中で生きている実感）

遠くの子供たちは、歩くのがたいへんです。でも、それで身につける多くのものがあります。保護者の皆さんが、子どものために幸運だとポジティブにとらえることはできないでしょうか。私も子どもの頃は、少し遠くから（約2.5km）歩いて通っていました。当時はいやだと感じていた（走って忘れ物の取り帰りもありました）と思いますが、今はそれが思い出であり、今の自分の力の一部になっていると思っています。

< 9月7日の登校時の雨（大雨：メールによる車での送りのお願い） >



降車スペースの黄色線

7日(木)の朝は、ちょうど登校の時間帯（7：00～8：00）に大雨が降る予報が出ました。すぐに連絡メールにて状況に応じた車での送りをお願いしました。方法は、これまでに2回、プリントを配り、お伝えしていました。子供たちの安全が第一ですから、今日のように登校に大きな危険を感じる状況においては、今後も同じ処置を行うようにいたします。

しかしながら、実際は校門から侵入しようとする車が多数あったり、降車スペース（黄色線が先頭）ではないところで子供たちを降ろしたりするなど、プリントやメール未読や不慣れから、1回目の試みは、かなり混乱しました。これから回を重ねるごとに慣れていただけていると思っています。さらに、緊急下校時の引き渡しの訓練も一度しなければいけません。後日、ご協力をお願いしたいと思います。

< 9月から地域、保護者の方のご協力をいただいています >

早速、今週、おはなし宅配便と丸つけ先生を実施しました。やはり、ご協力いただくことで子供たちの目は、輝きます。ありがたいことです。学力、情操教育に生かします。